

第9回 静岡県医学検査学会

テーマ：**変革**

～臨床検査技師として求められること～

日 時：令和3年6月12日(土)

定時総会：(Web) 10:00～11:30

学 会：(Web) 13:30～16:30



浜松城

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

第9回
静岡県医学検査学会
プログラム抄録集

学 会 長 : 高林 保行
JA 静岡厚生連 遠州病院
会 期 : 令和3年6月12日(土)

ご 挨拶

第9回静岡県医学検査学会
学会長 高林 保行



第9回静岡県医学検査学会を開催するにあたり、担当の西部支部を代表してご挨拶申し上げます。本学会は令和3年6月12日(土)にWeb開催されます。開催するにあたりご支援いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のために開催中止となりましたが、今回は新しい生活様式を取り入れて行くという社会の変化に合わせて、初の試みとしてWebにて開催することに決定しました。

昨今、医療を取り巻く環境は新型コロナウイルスにより大きく変わった事に加えて、医師の労働時間短縮に向けて可能な限り業務分担するタスクシフティング（業務の移管）が臨床検査技師に課せられています。今まさに臨床検査技師は変化する環境に対応する力が求められています。そこで今回のテーマは「変革～臨床検査技師として求められること～」として企画しました。教育講演ではタスクシフティングについて日臨技の丸田副会長から詳しく解説していただく予定です。静臨技もタスクシフティング普及促進を積極的に取り組んでいます。法律、政令、省令に関わり臨床検査技師の業務拡大となるため、静臨技会員の皆様のご理解とご支援が必要です。臨床検査技師の役割が変わることをきちんと受け止めて、新たに認められる拡大業務にどう取り組んでいくべきなのか考える機会となることを期待しております。

一般演題につきましては8演題の応募をいただきました。若手の技師を中心とした6演題と学生2演題となっております。Web開催ということで例年とは雰囲気は違いますが、本学会はこれからの本格的な学会発表の登竜門として良い機会にさせていただくことを期待しております。

慣例のランチョンセミナーもありませんし、学会場での相互の交流も出来ませんが、新しいスタイルで情報を得て順応性を高める機会となりますように、多数の会員の皆様、賛助会員の皆様、学生の皆様が参加されますことを運営委員一同心よりお待ちしております。

第9回 静岡県医学検査学会の開催にあたって

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
会 長 大石 和伸



第9回静岡県医学検査学会を開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、4月16日から5月6日まで政府から出された緊急事態。そして、新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見込めなかったため、苦渋の決断とし静岡県医学検査学会初めての中止させていただき一般演題に申し込みをいただいた会員の方々には申し訳ありませんでした。

今年も、新型コロナウイルス感染はいまだに治まることがなく、初めての試みとしてWebでの学会開催とさせていただきます。今学会をこれからの本格的な学会発表の登竜門として位置付けているため、リアルタイムでの発表形式とさせていただきました。本来の発表とは違う緊張感の中での発表となると思いますが、一つの経験としていただければ幸いです。また、従来であれば、賛助会員様のご協力でランチョンセミナーを開催し新しい情報を得る機会を提供させていただいていましたが、今回は中止とさせていただきました。申し訳ありません。

今回の学会は、【変革～臨床検査技師として求められること～】と題し開催いたします。一般演題8演題、教育講演1演題が予定されています。一般演題では、今回も学生から2演題の発表をいただき次世代を担う学生からの視点での発表はとても興味深いものがあります。

きたる2024年度より導入される時間外労働の上限規制「医師の働き方改革」に関するタスクシフティング。教育講演では、臨床検査技師のタスクシフティングについて日臨技副会長 丸田秀夫先生にご講演いただきます。今学会テーマである【変革】が起ころうとしています。これから医療スタッフとして臨床検査技師に我々に求められていることは何なのか、何をどの様に推進していけばいいのかを管理者だけにとどまらず全ての検査技師と考えるきっかけになればと思います。

最後になりましたが、学会開催にあたり担当地区である西部支部を中心とする役員の皆様方、初めてのWebでの静岡県医学検査学会の開催準備にお忙しい中ご尽力いただき感謝申し上げます。

プログラム

時 間	内 容
9 : 00 -	総会受付・Live 配信準備
10 : 00 - 11 : 30	令和 3 年度 定時総会
午前終了	
13 : 00 - 13 : 30	Live 配信準備
13 : 30 - 13 : 40	開 会
13 : 40 - 14 : 25	一般演題《第 I 群》
14 : 25 - 15 : 10	一般演題《第 II 群》
15 : 10 - 15 : 30	Live 配信準備
15 : 30 - 16 : 30	教育講演 『タスク・シフト / シェアについて』 日本臨床衛生検査技師会 副会長 丸田秀夫先生
16 : 30 - 16 : 40	閉 会
全日程終了	

教育講演

15時30分～16時30分

座長：高林 保行 学会長
(JA 静岡厚生連 遠州病院)

『タスク・シフト / シェアについて』

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
副会長 丸田 秀夫

教育講演

タスク・シフト / シェアについて

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
副会長 丸田 秀夫



略歴

姓名 : まるた ひでお
丸田 秀夫

職歴等

昭和62年4月 東十条病院（東京都）開設準備事務局就職
昭和63年4月 谷津保健病院（千葉県）就職
平成2年10月 佐世保中央病院就職
平成18年10月 佐世保中央病院臨床検査室技師長
平成23年4月～ 佐世保中央病院臨床検査技術部部长

平成22年～ 日本臨床衛生検査技師会 理事
平成26年～ 日本臨床衛生検査技師会 執行理事
平成28年～ 日本臨床衛生検査技師会 常務理事
令和2年～ 日本臨床衛生検査技師会 副会長

現在に至る

資格等

昭和62年3月 群馬大学医療技術短期大学部衛生技術学科卒業
昭和62年5月 臨床検査技師免許取得
平成4年12月 細胞検査士資格取得
平成5年3月 国際細胞検査士資格取得
平成10年8月 二級甲類臨床病理技術士資格（病理）取得
平成14年3月 放送大学教養学部卒業

所属学会

日本臨床衛生検査技師会、日本臨床検査医学会、日本病理学会、日本臨床細胞学会 他

学会等役職

長崎県臨床検査技師会顧問、臨床検査振興協議会理事
厚生労働科学特別研究事業 臨床検査における品質・精度の確保に関する研究 研究協力者
厚生労働省 検体検査の精度管理等に関する検討会 構成員 他

一般演題

《第Ⅰ群》 13時40分～14時25分

座長：久留島 幸路（磐田市立総合病院）
鈴木 篤 （JA 静岡厚生連 静岡厚生病院）

1. 当院生理検査室における医療安全のための関わり
～報告書未確認防止のために～
聖隷三方原病院 簾野 真実
2. You Tube で小学生が憧れる臨床検査技師に
静岡医療科学専門大学校 岩崎 恵美
3. 国際学会発表を経験して伝えたいこと
静岡県立総合病院 鈴木 駿輔
4. ドセタキセル投与後に偽ペルゲル核異常を認めた1症例
静岡県立静岡がんセンター SRL 検査室 永谷 大輔

《第Ⅱ群》 14時25分～15時10分

座長：武藤 淳 （中東遠総合医療センター）
齋田 英之 （三島中央病院）

5. 美容とのコラボレーションでがん検診の二次受診率向上を目指す
静岡医療科学専門大学校 中尾 陽美
6. 当院健診センターにおける便潜血陽性者のその後
三島中央病院 落合 彩貴
7. ビオチン過剰摂取による検査値への干渉
静岡県立総合病院 柴田 竜也
8. 当院における SARS-CoV-2 抗原定量検査の有用性
JA 静岡厚生連 遠州病院 中山 雄太

当院生理検査室における医療安全のための関わり ～報告書未確認防止のために～

簾野 真実（聖隷三方原病院 臨床検査部）

直田 恵里、岡井 直子、長谷川 洋子、谷高 由利子、福田 淳（同上）

【はじめに】

画像診断結果の医師未確認により、患者の治療結果に重大な影響を与えた事例が全国で繰り返し報告されている。この事例への対策として、当院生理検査室では2020年5月より生理検査システムの「報告書医師確認」機能を活用し、医師による報告書確認状況を把握するための運用を開始した。今回は、その取り組みと効果について報告する。

【取り組み】

従来、生理検査実施後に医師による確認状況を把握することは困難であったため、生理検査システム更新時に報告書確認機能を導入した。この機能は電子カルテで医師が報告書を確認後、「医師確認」ボタンを押すと検査システム一覧のステータスが確認済となるものである。運用開始にあたり、診療科毎のカンファレンスに出向き医師に説明を行った。また院内会議で診療部長に依頼し、周知を図った。対象は心電図検査、超音波検査、脳波検査の報告書とした。方法は、検査数に対する読影済報告書数を医師確認実施率（以下、実施率）として集計し未確認報告書の一覧表を作成した。それらを診療科毎に医師に連絡し、報告書を確認するよう促した。また、連絡後2週間の時点で再度実施率を集計した。

【効果】

運用開始時の2020年5月との実施率を比較した。

超音波検査は48%から最大76%へ、心電図検査は19%から最大54%、脳波検査は64%から最大100%へと上昇した。

【考察】

取り組み当初より実施率は上昇しているが、診療科によりばらつきがあるため、実施率の低い科に対する継続的なアプローチが課題として挙げられる。このため、診療科毎に実施率の低い原因を調査し、科に見合った運用方法を提案していきたい。確認ボタンの押し忘れをなくすため、定期的に医師へ操作を対面で説明することも必要と考える。また、医師に電子カルテに読影結果を記載してもらうことも重要であるため、その旨も合わせて強調したい。

【結語】

この取り組みにより、報告書の未確認を防止し医療安全に繋がれると考える。診療部とのコミュニケーションを増やして実施率を100%にすることが我々の目指すところであり、これにより患者にとってより安全で安心できる検査を提供することができると思う。

You Tube で小学生が憧れる臨床検査技師に

岩崎 恵美（静岡医療科学専門大学校）

【背景】

私が臨床検査技師になろうと思ったきっかけは、高校3年生の時だった。将来目指すものが決まっておらず、様々な職業を知っていく中で、「臨床検査技師」を見つけたことからである。漠然と、病気で苦しんでいる人の助けになりたいという思いと、理数系の科目が好きだったこともあり、臨床検査技師の仕事内容を理解するうちに、得意な科目が生かせるのではないかと考えた。そして、静岡で中部圏支部医学検査学会に参加した。その時、臨床検査技師の仕事について説明して下さった先生方の姿を見て感動したのを今でもはっきりと覚えている。今は臨床検査技師になるため、日々勉強に尽力しているが、もっと早くにこの職業のことを知っていれば、という思いがあった。

【目的】

「医師」「看護師」は小学生にも広く知られている。「2020年小学生の将来になりたい職業ランキング」では、医師や看護師のみならず、「薬剤師」という職業も、トップ10にランクインされている。ここから、医療に携わりたいという小学生が多いことを知った。私が参加した中部圏支部医学検査学会進学ガイダンスを含め、臨床検査技師の仕事を紹介するガイダンスは、ほとんどが中高生向けである。私は、小学生のなりたい職業ランキングトップ10に、臨床検査技師をランクインさせ、魅力ある臨床検査技師の仕事を広く知ってもらう方法を提案する。

【方法】

本校の先輩が第33回世界医学検査学会国際学生フォーラムで発表したInstagramを利用した普及法だが、小学生を対象にしたい場合は、見てもらいたいページへは、検索ワードからたどり着くことから、この方法では難しいと考えた。現在、小学生が最も興味を持っているのが「You Tube」である。そのため、私はYou Tubeを利用した方法を提案する。

夏休みなどの小学生の休暇中に、「理科教室」を、私たちのような臨床検査技師を目指す学生が開催する。小学生が興味を持つような、「なぜ手を洗わないといけないのか。」「なぜお肉は焼かなくてはいけないのか。」というような普段何気なくやっていることの疑問を、実験をしながら考えていくという内容で行う。微生物学、医動物学などの知識・技術を生かして、楽しく勉強してもらいたいと考えている。そして、実際に小学生に実況をしてもらいながら動画を撮影し、You Tubeにあげてもらう。小学生が実況することで、同世代の小学生に広く見ってもらうことができると考える。この度、実際に行った手洗いを題材とした理科教室では、アンケート結果から手洗いの必要性だけではなく、臨床検査技師の存在を少しでも認知してもらえるものとなった。

【展望】

私の同級生には、大学を卒業後入学した人、全く別の職業に就いていた人などがいる。臨床検査技師という職業は、進路変更をしてまでもなりたいと思える魅力ある職業だという事である。これからなりたい職業を考える小学生に、当たり前のように「臨床検査技師」の名前が挙がる未来を、将来を担う自分たちの力で作りたいと思う。多くの人が目指し、競争率が益々高くなれば、必然的に職業の地位や、職業に就く人の知識や人柄を含めたレベルが今よりも更に向上すると考える。それに伴い、臨床検査の質、医療の質も向上すると考える。

国際学会発表を経験して伝えたいこと

鈴木 駿輔（地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院）
石原 潤、匂坂 博美、平松 直樹、島田 俊夫（同上）

【報告】

2019年12月4日から7日までオーストリアウィーンで開催されたEuroEcho2019（欧州心血管イメージング学会）のポスターセッションの2演題を発表した。EuroEcho2019はヨーロッパの国を中心として4,000名以上の参加があり、ASE（アメリカ心エコー学会）2019年の参加者約2,600名を超える近年世界最大規模の循環器画像学会となった。今回は当院循環器内科医師1名も2演題のポスター発表が採択され、当院からは合計4演題の採択となった。学会では循環器関連画像の中でも心エコーに関わるセッションがメインであり最新のトピックス等が発表された。

【考察】

今回、国際学会へチャレンジしたのは自分の力の程度を知りたかったからである。私は国内の循環器、技師会、心エコー図関係の学会に研究・症例報告に取り組んでいる。国際学会を意識したのは2018年に循環器の医師からEuroEchoへ演題登録をすすめられたところから始まったが、2018年に開催されたEuroEcho2018ではチャレンジしたが不採用であった。再度挑戦をして、発表症例を1年前から準備してEuroEcho2019で遂に採択された。医療職に限らず様々な職業・分野で国際的に活動する機会は増えている。また、世界に目を向けるとどの国の参加者も自分の仕事に誇りを持ち、自らの仕事に強い情熱を持っている。研究者だけではなく臨床医や検査技師を含めたコメディカルでも発表の場に立てば同じ目的を持った者同士であり、情報を共有するという観点では日本に留まらずに世界の同じ境遇の方と意見交換をすることは必要であると考えます。また、診療ガイドラインはアメリカやヨーロッパで作成されたものが大きなウエイトを占めている。世界基準を論文だけで読むのではなく、ガイドラインが発表される場に行って体感することも自らのモチベーションを上げる一つの要因ではないかと思う。国際学会発表で最も感謝しなければいけない事は、渡航期間を含めて1週間近く不在にするにも関わらず、快く送り出してくれた生理検査の仲間の存在である。当生理検査室では心エコーの年間件数14,000件を超えるハイボリューム施設となっている。その中で1人工が不足する事は大きな痛手である。そのような状況の中で参加した私にできる事はこの経験を臨床に還元することと、次の学会発表者のサポートである。何点か私の思うところをお伝えしたい。若手世代には、スキルアップと教科書的・論文的な知識のインプットが必要である。国内外の発表を視野に入れた多くの症例経験と研究をすること、具体的に心エコーならば率先して難しい症例にチャレンジして、先輩や医師の技術や知識を盗む事に専念して今後の研究や症例発表の基礎を作ることが望ましい。私と同世代の中堅はスキルも上達し、症例経験も積み、国内の学会発表経験もあると思うので、一步踏み出した事にチャレンジするのも良いと思う。具体的には、医師が多く参加する学会での発表や英文抄録のある論文に投稿することである。勿論、そのようなプロセスを経ずとも国際学会にチャレンジする事も可能である。また、後輩を指導して学会発表することも自らの勉強にもなる。最後に、今回の発表で自分自身が国際学会で演題を出す力がある事は分かったが、継続した発表を見据えて英会話力を高めることが今後の最大の課題である。

ドセタキセル投与後に偽ペルゲル核異常を認めた1症例

永谷 大輔（静岡県立 静岡がんセンター SRL 検査室）
鈴木 康之、小池 さよ子、石田 修一、小澤 泉（同上）
梁瀬 博文（静岡県立 静岡がんセンター 血液管理室）

【はじめに】

ペルゲル核異常とは好中球低分葉核異常のことであり、核膜タンパク質である lamin B 受容体遺伝子の変異により、顆粒球核の形態異常を引き起こす常染色体優性遺伝子疾患である。骨髓異形成症候群（MDS）などに特徴的にみられる好中球低分葉核異常は、偽ペルゲル核異常として区別されその診断に有用かつ重要な所見である。

今回、前立腺癌患者へタキサン系の抗がん剤の一つであるドセタキセルを投与後に末梢血標本に偽ペルゲル核異常を認められたので症例を交えて報告する。

【症例】

左股関節痛と左膝痛で他院受診し、レントゲン・MRIにて腫瘍及び溶骨/骨硬化の混在する病変、PSA1,200ng/mLであることから前立腺癌が原因とする骨転移が疑われ、当院紹介となる。抗癌剤治療を開始するもドセタキセル投与後から白血球及び好中球減少症が見られ、末梢血標本にて偽ペルゲル核異常を認めた。

【検査所見】

投与前末梢血:WBC5,900/ μ L RBC342 $\times 10^4$ / μ L Hb12.0g/dL MCV104.7fL PLT14.1 $\times 10^4$ / μ L
機械値: Neut80.0% Ly10.9% Mon 8.3% Eo0.5% Baso0.3%

Day7末梢血:WBC1,220/ μ L RBC343 $\times 10^4$ / μ L Hb11.9g/dL MCV104.7fL PLT13.8 $\times 10^4$ / μ L
目視: Stab2.0% Seg46.4% Ly39.3% Mono8.2% Eo0.8% Baso3.3%

Day12末梢血:WBC2,360/ μ L RBC323 $\times 10^4$ / μ L Hb11.2g/dL MCV105.3fL PLT15.2 $\times 10^4$ / μ L
目視: Myelo8.0% Meta3.0% Stab4.0% Seg40.0% Ly24.0% Mono19.0% Eo0.0% Baso2.0%

【まとめ】

ドセタキセル投与後、Day7より白血球が低下するとともに好中球数が590/ μ Lと好中球減少症が見られ末梢血標本中にも偽ペルゲル核異常を認めた。Day12では、白血球及び好中球数の増加を認め、偽ペルゲル核異常の出現率も低下した。好中球の形態異常を発見しMDS等の血液疾患を拾い上げることは重要であるが、化学療法患者の一時的な形態異常でも散見される為、判断に支障をきたすことが懸念される。また、投与濃度や個人差により出現頻度が異なることも予想されるので微小管脱重合阻害作用をもつタキサン系の抗がん剤の投与患者へは、MDSで見られる偽ペルゲル核異常との鑑別も今後の課題にしていきたい。

連絡先:055-980-5686

美容とのコラボレーションでがん検診受診率の向上を目指す

中尾 陽美（静岡医療科学専門大学校）

【背景】

私の叔母は53歳の若さで、悪性新生物によりこの世を去った。叔母は非日常を感じられるきらびやかな場所、例えば百貨店の化粧品売り場に行くのが好きだった。一方、忙しさや病院嫌いが重なり、がん検診を受けていなかった。実際、平成28年に行われた「がん対策に関する世論調査」では、がん検診を受けない理由は「受ける時間がないから」が30.6%で最多となっている。現在は、がん検診を受ける時間がないという方への対策として、少量の血液検体から複数のがんを検出できる装置も各メーカーで開発されつつある。しかし、がん対策推進基本計画によるがん検診受診率の目標値は50%であるのにも関わらず、平成28年の時点でその目標に達したのは男性の肺がん検診受診率(51%)のみであり、他のがん検診受診率は軒並み目標に届いていない。そこで、がん検診を受ける時間がないという理由以外に、受診率伸び悩みにはどのような要因があるかを、まずは医療系専門学生の意識を調べることで、将来的ながん検診受診率上昇へと繋がる提案をしていきたい。調査結果を基にして、今後は臨床検査と美容業界がコラボレーションして、百貨店などで化粧品を選ぶときに、手軽にがん検診を受けるきっかけを作ることができるのではないかと考えた。

【目的】

忙しい方や病院嫌いな方が、きらびやかな環境でがん検診を受けられるようになってもらう前段階として、がん検診の大切さを様々な角度から学んでいる医療系専門学生の意識について調査することを目的とした。

【対象と方法】

静岡医療科学専門大学校7学科（看護学科、助産学科、理学療法学科、作業療法学科、医学工学科、医学検査学科、医学放射線学科）の学生568名（男性230名、女性338名）にアンケートを実施した。質問項目には、自分の健康について考えるタイミングや各種がん検診に対する意識、検診センター以外でがん検診を血液一滴で行えることについてどう考えるかなどがある。その詳細な結果は当日の発表で紹介するが、結果を性別、年齢、学科などの観点から統計解析を行い検討した。本研究は、静岡医療科学専門大学校倫理委員会の承認を得て行った。

【展望】

この度のアンケート結果を基に、がん検診受診率上昇に取り組んで行くことは、将来的には臨床検査技師の職域拡大にも貢献できると考える。美容とのコラボレーションという言葉だけ聞くと、少し聴き慣れない提案と思うかもしれない。しかし私たちが検査をする患者さんは医療の知識を持っていない人が大半であり、より多くの人たちのがん検診を受けてもらうために、臨床検査をどう提供するかも考えるべきだと思う。日常を離れて、ゆっくり美容について考えている豊かな時間のついでに、自身の健康についても考える時間を提供したい。

当院健診センターにおける便潜血陽性者のその後

落合 彩貴（三島中央病院）

【はじめに】

当院健診センターは2018年4月1日よりオープンし、月曜日～土曜日まで地域住民及び近隣企業従業員等における生活習慣病及び疾病の早期発見の手掛かりとなるよう努めている。

オープン当初は用手法だった便潜血検査は、2019年3月より測定装置を新規導入し、更なる検体数の増加にも対応できるようになった。今回2年分の検査件数および陽性率の集計と共に、陽性者がどのような経過を辿っているのかを調査したので報告する。

【対象・方法】

2018年4月1日～2020年3月31日（2年分）の健診センターより依頼された便潜血検査人数（2日法：3597名、1日法：431名 計4028名）のうち陽性者について調査する。

【結果・考察】

- ① 2日法のうち2本共陽性件数は183名
- ② 2日法のうち1本のみ陽性件数は508名
- ③ ①、②を合わせた陽性率は19.2%
- ④ 1日法の陽性件数は51名、陽性率は11.8%
- ⑤ 以上陽性者の内訳は現在調査中につき考察を含めて当日発表する予定である。

ビオチン過剰摂取による検査値への干渉

柴田 竜也（静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 検査部）

高山 拓也、大石 祐、久住 裕俊、村越 大輝、平松 直樹（同上）

【はじめに】

ビオチンはビタミン B 群に分類される水溶性ビタミンであり、アビジンと高い親和性を持つことから、免疫学的検査で広く応用されている。しかし、ビオチンの過剰摂取による測定系への干渉が報告されており、誤診を招く可能性が危惧されている。今回、測定系にビオチンを用いている「エクルーシス試薬 TRAb（抗 TSH レセプター抗体）」が、内因性ビオチンの影響を受けにくい試薬に改良され、旧試薬と比較する機会を得たので報告する。

【対象・方法】

健常成人 5 人に対して、午前 8 時に採血し、直後にビオチン 20mg（VitalMe Biotin：2錠）を摂取させ、その後、1、3、6、8、12、24 時間後に採血し、TRAb を新旧試薬でそれぞれ測定した。測定機器は cobas e801、試薬は「エクルーシス試薬 TRAb」（旧試薬）、「エクルーシス試薬 TRAb v2」（新試薬）を用いた。

【結果】

午前 8 時の採血では、全検体 TRAb 陰性（カットオフ値：2.0IU/L）であった。旧試薬ではビオチン摂取後から上昇を認め、3 例は 1 時間後、2 例は 3 時間後にピークとなり、摂取前からの変化率（ピーク時）は 198～2613%であった。また、4 例で TRAb 陽性（5.59～20.9IU/L）を示した。その後、6 時間後に全ての検体が陰性化し、8 時間後にビオチン摂取前のデータに戻った。一方、新試薬は微量な上昇を認めたが、陽性化した検体はなく、摂取前からの変化率（ピーク時）は 112～196%であった。

【考察】

エクルーシス試薬 TRAb は ECLIA 法を用いた 1 ステップ競合法であり、血清中の過剰なビオチンにより異常高値を示す。旧試薬ではビオチン摂取後から TRAb のカットオフ値を超える上昇が認められたが、新試薬は微量な上昇であり、内因性ビオチンによる測定系への干渉は軽減されたと考える。時間経過による変動では、個人差はあるものの 1～3 時間後にピークをむかえ、その後時間経過とともに低下傾向であった。以前より試薬添付文書に記載されているビオチン摂取 8 時間を目安に測定することが推奨される。新試薬では干渉は軽減されているが、臨床症状と解離が認められる場合には服用の有無を確認する必要がある。

【結語】

国内で販売されているサプリメントから高濃度のビオチンを摂取することは難しいが、海外製サプリメント等で摂取することは容易である。新試薬はビオチンの干渉を軽減しているが、測定系にビオチンを用いている試薬を使用する場合は、干渉を受ける可能性を考慮し、検査データを解釈する必要がある。

当院における SARS-CoV-2 抗原定量検査の有用性

中山 雄太 (JA 静岡厚生連遠州病院 臨床検査科)

伊藤 宇史、齋藤 詩織、鈴木 泰秀、市川 佐知子、高林 保行 (同上)

【はじめに】

中国武漢市を発生源とする新型コロナウイルス感染症は、今もなお世界各地で猛威を振るっている。新型コロナウイルス検査の需要は増していく一方である。当院では、必要な時に速やかに検査ができる SARS-CoV-2 抗原定量検査をいち早く導入した。2020 年 11 月に新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験し、導入からクラスターに至るまでの経過と現状から、SARS-CoV-2 抗原定量検査の有用性について紹介する。

【使用機器・試薬】

- ・全自動化学発光酵素免疫測定システム ルミパルス G1200
- ・SARS コロナウイルス抗原キット ルミパルス SARS-CoV-2 Ag

【クラスター発生時の状況と現状】

11 月 7 日入院患者 1 名の感染が判明。同日中に関連病棟の患者と職員 89 名、翌日関連病棟の残り 31 名の SARS-CoV-2 抗原定量検査を実施し全件陰性であった。その後 2 週間で計 16 名の感染者が判明し 12 月 7 日に最後の陽性者発生から 2 週間が経過したため、終息宣言となった。11 月 7 日～12 月 7 日で抗原定量検査数は合計 1,564 件実施した。クラスター発生時には 1 日に 100 件を超える検査を実施した。現在は新型コロナウイルス感染症疑い患者に加えて、入院時、入院後の発熱時、手術前、分娩前には必ず検査を実施している。

【まとめ】

厚労省から承認されて間もなくの導入ということもあり、手探り状態で始めた運用の中で、導入当初は判定保留率が高かったが、遠心操作を加える等、メーカーからの助言を頂きながら試行錯誤を繰り返すことで徐々に減少していった。クラスター発生以降、検体数は大幅に増加したが、1 時間当たり 120 テストの処理能力を発揮し、十分に対応することができた。迅速検査として検体数が 100 件を超える日もあり、PCR 検査のみではおそらく対応不可能であった。試薬面についても、国内メーカーによる販売ということが試薬供給の安定性に貢献していた。これらのことから、ランダムアクセスで迅速判定可能であり、PCR 検査と同等の検出感度である SARS-CoV-2 抗原定量検査の有用性は高かったと考えられる。

第9回 静岡県医学検査学会

担当：一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 西部支部役員

学会長	(副会長)	高林 保行	JA 静岡厚生連 遠州病院
実行委員長	(常務理事)	中村 孝始	浜松医療センター
学会事務局	(会計部長)	齋藤 晴義	聖隷予防検診センター
学会事務局	(理事)	直田 健太郎	聖隷浜松病院
学会事務局	(理事)	武藤 淳	中東遠総合医療センター
学会事務局	(理事)	久留島 幸路	磐田市立総合病院
学会事務局	(監事)	廣野 裕章	志都呂クリニック

会長	大石 和伸	静岡県立こども病院
副会長	羽切 政仁	聖隷沼津病院
副会長	深澤 邦俊	静岡済生会総合病院
常務理事	須田 達也	裾野赤十字病院
常務理事	鈴木 篤	JA 静岡厚生連 静岡厚生病院
理事	齋田 英之	三島中央病院
理事	石井 浩崇	NTT 東日本伊豆病院
理事	高橋 詩帆	JA 静岡厚生連リハビリテーション 中伊豆温泉病院
理事	加茂川 暢彦	静岡市立静岡病院
理事	松浦 裕	焼津市立総合病院
理事	前澤 圭亮	静岡赤十字病院
事務局長	坂根 潤一	静岡県立こども病院
監事	藤原 誠	伊豆赤十字病院



第9回 静岡県医学検査学会 抄録集

発行日：令和3年5月吉日

発行部数：300部

発行者：大石和伸 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会長

発行所：一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
〒422-8062 静岡県駿河区稲川1-1-15 ヴィラセイユ稲川207
TEL 054-287-6337 FAX 054-287-4113

印刷所：株式会社 桐屋印刷
〒432-8056 静岡県浜松市南区米津町1181
TEL 053-441-4526 FAX 053-441-7809
URL：<https://www.kiriya.co.jp/>

